

福谷	<p>市民ネットワークの福谷章子と申します。</p> <p>通告に従いまして、議案質疑を行います。</p> <p><u>まず初めに、議案第75号・千葉市保育所設置管理条例の一部改正について伺います。</u></p> <p>本議案は、<u>千葉市保育所設置管理条例から土気保育所の項を削除する</u>というものです。</p> <p>土気保育所は、千葉市新5か年計画において増改築事業として計画されていたにもかかわらず、このたび増改築ではなく廃園にしようというものです。本議案により、土気保育所を選択した保護者の選択権は保障されず、保護者の意向にかかわらず子供たちを退園させなければなりません。人としての基本的信頼関係を築く年代の子供たちにとっても、心を許した保育士との関係が切れるなど、環境の変化を強いられることから、この計画変更は大変大きな問題であると考えます。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>まず、<u>土気保育所の現ゼロ歳児から3歳児にとっての保育環境が途中で大きく変わることに</u>関しては、<u>どのようにお考えでしょうか。</u></p> <p>二つ目に、<u>千葉市新5か年計画の中で、土気保育所同様に建てかえが計画されている大森保育所、千城台西保育所</u>に関しては、<u>今後どのようにされるのか、</u>お答えください。</p> <p>三つ目に、<u>次世代育成行動計画の中に、今後の千葉市の保育所運営方針がうたわれるとのこと</u>ですが、<u>その決定プロセスを具体的に</u>お示しください。また、<u>その決定に本議案は影響すると考えられますが、御見解をお聞かせください。</u></p> <p><u>次に、議案第76号・千葉市立幼稚園設置条例の廃止について伺います。</u></p> <p>本議案は、昭和44年、千葉市との合併により千葉市唯一の公立幼稚園として役割を果たしてきた<u>土気幼稚園を、施設の老朽化と園児の減少を理由に廃園にする</u>というものです。</p> <p>千葉市が従来より幼児教育は私立幼稚園にゆだねてきたこと、事務事業評価の観点から見直しがなされたことも背景にあり、平成16年度末をもって廃園し、跡地の有効利用も図られるとのことです。昨年11月に、廃園通知の知らせが保護者のもとに届いてから廃園議案が提案されるまでの期間は、わずか半年余りと、いかにも拙速でした。愛着を持ってそこに子供を通わせている保護者の皆さんの怒りや落胆は、察するに余りあります。</p> <p>そこで、3点伺います。</p> <p>まず、<u>土気幼稚園の廃園に関し、いまだに同意を得られていない保護者の思いをどのようにとらえているか、</u>お聞かせください。</p> <p>二つ目に、<u>千葉市も認識している自主保育クラスたんぼぼに所属している待機児童をどう考えているか、</u>伺います。</p> <p>三つ目に、<u>土気幼稚園は、合併前の土気町時代から続いた地域住民にとっても大切な思い出の場</u>ですが、<u>保護者や住民から、その記憶を残すことについてどのような要望があるか、</u>お聞かせください。</p> <p><u>議案第80号・千葉市・四街道市合併協議会の廃止について伺います。</u></p> <p>合併協議会の委員には、四街道市の住民投票の結果を受けて四街道市の市長と協議した結果、協議の継続は難しいとの判断で廃止を決断したとの通知がありました。合併協議会自体は、第5回を最後に四街道市の議員選出委員が決定できないためか、予定されていた協議会も開催することなく今回の廃止の通知となり、また、市民や議会にも詳しい経過についての説明がなされていません。そのせいもあるのでしょうか、四街道市民の盛り上がり比べ、千葉市民の関心は高まらないように見受けられました。例えば、傍聴者の総数は、四街道市民188名に対し、千葉市民17名です。</p> <p>また、合併協議会では、合併の是非を含む両市の合併に関する協議を行うとしていましたが、合併の是非が議題になったことはありませんでした。</p> <p>さらに、会議運営規定によれば、会議の議事は、全会一致を原則とし、意見が分かれた場合は、3分の2以上の賛成をもって決することができるようになっていました。しかし、22回の採決のうち、全会一致が4件、多数決による議決が17件であったことから、全会一致を原則とせず運営が行われている</p>
----	---

たようにも思われます。合併協議会の設置に当たっての説明では、期限を定めず議論すると明言されていましたが、現実には5回で協議を打ち切られました。

また、合併建設計画は、千葉市にも大きな影響がある事柄も含まれていましたが、市として市民に対する情報提供が行われず、合併協議会任せとなっていました。

そこで、以下3点について伺います。

まず、今回の廃止を決断された経緯と、市長の今のお気持ちをお聞かせください。

二つ目に、合併の是非については議題にする予定があったのか、伺います。

三つ目に、市民意見が反映されるように、積極的に情報提供をする必要があったと感じますが、御見解を伺います。

最後に、議案第86号と議案第87号の工事請負契約については、関連がありますので、まとめて伺います。

この議案は、隣接する新港クリーン・エネルギーセンターから供給される余熱を利用した施設である、アイススケート場及び温浴施設の工事請負契約で、総事業費21億円のうち施設新築工事9億円、電気設備工事2億5,800万円余の契約に関する議案です。この施設は、平成17年10月オープン予定で、その後の管理運営は、指定管理者制度を導入して民間事業者にゆだね、独立採算を目指すものです。

平成14年12月に出された新港清掃工場余熱利用施設基本計画では、概算事業費16億円であったものが、実施計画が示された段階では21億円へと、5億円増額された経緯があります。本年度の予算編成では、基金を取り崩して177億円の財源不足を補うという努力がなされており、このように事業費が膨らんだことに関して、より積極的な情報開示が必要であったと考えます。

今回、契約議案が提案されたことにより、全体像がより鮮明になりました。アイススケート場のメインとなるリンクに関する冷凍設備等に関しては指定管理者が持ち込み、およそ3億円になるそうですが、工事着手の時期と管理者の募集時期がずれます。

そこで、以下2点について伺います。

冷凍設備等は指定管理者が持ち込むと聞いていますが、建築工事や電気設備工事との整合は図られているのでしょうか。

温浴施設に関しては、近隣の利用が見込まれますが、市民が利用しやすい工夫、配慮はされているのでしょうか。また、それを今後の指定管理者選定の仕組みの中でどのように反映させるのでしょうか、お聞かせください。

以上で、1回目の質疑を終わります。

保健福祉局長

議案第75号・千葉市保育所設置管理条例の一部改正についてお答えいたします。

初めに、保育環境が変わることについてですが、保育環境の変化に児童がスムーズに適應できるような配慮をするよう、法人を指導してまいります。

次に、大森保育所、千城台西保育所の建てかえについてですが、社会福祉法人による整備を含め、今後検討してまいります。

次に、今後の公立保育所の運営方針について、まず、決定プロセスですが、次世代育成支援行動計画を策定する中で、保育サービスの充実として待機児童解消計画を盛り込むこととしておりますので、民営化を含め、保育所の整備について児童福祉専門分科会において審議していただくこととしております。

また、計画の策定に当たっては、パブリックコメントの実施など広く御意見を伺うこととしております。

次に、本議案の保育計画への影響ですが、直接的な影響はないものと考えておりますが、一つの参考事例としたいと考えております。

教育長

議案第76号・千葉市立幼稚園設置条例の廃止についての御質問にお答えいたします。

まず、土気幼稚園の廃園に関し、いまだに同意を得ていない保護者の思いをどのようにとらえているかのお尋ねでございますが、保護者の方々の幼稚園を愛する気持ちは人一倍強いものと存じますが、本市全体における幼児教育振興の視点から、深い御理解をいただきたいと考えております。

	<p>次に、自主保育クラスたんぼぼに所属している待機児童についてでございますが、現在、このサークルに所属している幼児は、10名前後いると伺っております。しかしながら、土気幼稚園の廃園は、全市的な幼児教育振興等の視点から行うものであり、御理解をいただきたいと考えております。</p> <p>次に、土気幼稚園の記憶を残すことについての要望はあるかとお尋ねでございますが、保護者説明会において、廃園に伴い、施設、備品などはどうなるのか、何らかの方法で記憶を残してほしいなどの要望をいただいております。</p>
企画調整局長	<p>議案第80号・千葉市・四街道市合併協議会の廃止についてお答えします。</p> <p>まず、合併協議会廃止に至る経緯と所感についてですが、去る5月16日の住民投票において四街道市民が自立の道を選択したものであり、この結果を受け、四街道市との協議により、協議会の廃止に向けた手続を進めるものであります。</p> <p>次に、合併の是非につきましては、最終的には合併協定書案を協議会にお諮りする時点で御判断をいただく予定でありました。</p> <p>次に、市民への情報提供についてですが、市政だよりや合併協議会だよりで概要をお知らせするとともに、すべての資料や会議録を区役所やホームページで公表するなど、情報提供に努めてきたところであります。</p> <p>次に、議案第86号及び議案第87号の余熱利用施設に係る工事請負契約についてお答えします。</p> <p>建築及び電気設備の設計の際に、冷凍設備との整合について十分検討を行い、指定管理者が持ち込む冷凍設備が支障なく取り付けられるよう、整合を図っております。</p> <p>最後に、温浴施設についてですが、近隣市民の利用についての配慮は、徒歩あるいは自転車で来場する場合のアプローチを住宅団地方面に設けるとともに、100台収容の駐輪スペースを計画しております。</p> <p>また、指定管理者指定のための手続条例案は、第3回定例会で提案する予定であります。その後、これに基づき、市民が利用しやすい管理運営計画を含め、総合的に最もすぐれた提案をした事業者を採用してまいりたいと考えております。</p>
福谷	<p>それでは、2回目の質疑を行います。</p> <p>議案第75号、議案第76号に関しては、密接な関係がありますので、あわせて発言いたします。</p> <p>11月の土気幼稚園並びに土気保育園両園の廃園予告以来、あらゆる機会に、<u>廃園理由の正当性</u>を求めて、私たち市民ネットワークでは質問をしてまいりました。しかし、残念ながら今回の提案は、保育所の待機児童解消という目先の課題に振り回され、少子化対策の本質から大いにかげ離れたものであるとしか言いようがありません。土気幼稚園における、幼児教育を私立幼稚園にゆだねてきたという既成事実をもってしての、強引な廃園決定は、ひとえに経済効率性が背後に見え隠れし、豊かな子育てを求めて努力している保護者の心を踏みにじるものであります。その跡地に、定員を超えて多くの園児の居場所として定着しているような土気保育所を廃園にして、民間の社会福祉法人に新たにゆだねるといのは、入所児童の減少によって廃園された過去の検見川保育所と大宮保育所の事情とは、全く異なります。</p> <p>くしくも先日、合計特殊出生率の全国平均1.29という数字が発表され、最低記録を更新しました。千葉市においては、さらに低いと聞いております。子育てをしている当事者の気持ちが尊重されるような社会でなければ、少子化に歯どめがかかることはないということを、今後の施策決定において忘れていただきたくありません。</p> <p>そこで一つ伺います。</p> <p><u>廃園によって転園を余儀なくされる現ゼロ歳児から3歳児へは、具体的にどのような配慮がなされるのでしょうか。</u></p> <p>以上、2回目の質疑です。</p>
保健福祉局長	<p>議案第75号・千葉市保育所設置管理条例の一部改正についての2回目の御質問にお答えします。</p> <p>保育環境が変わることへの配慮についてですが、具体的には今後検討してまいりますが、例えば、日課や行事などを大きく変えないように、また、児童がスムーズに適應できるように、引き継ぎ期間を設けるよう指導することなどを考えております。</p>
福谷	御答弁ありがとうございました。

今回も土気幼稚園に関しては、千葉市立土気幼稚園を存続させる会より、土気保育所に関しては、千葉市立土気保育所父母の会存続問題部会より、それぞれ陳情が出されておりますので、今後、常任委員会において精査してまいりたいと思います。

最後に、議案第 80 号・千葉市・四街道市合併協議会の廃止についてですが、去る 5 月 16 日の四街道市の住民投票の前日、四街道市民の方から、千葉市は一体四街道と合併がしたいのですか、したくないのですかと尋ねられました。賛否が拮抗している中で、直前まで判断がつかかねている人にとっては、いざというときになって、望まれてもいないのに、なぜ賛成と書かなければならないのだろうかというのが、率直な気持ちであると感じました。

法定合併協議会を立ち上げた以上、たとえ編入合併であろうと、千葉市民の意見も十分にくみ上げて、千葉市としての意思を確立し、四街道市民に対してメッセージを発する努力をするべきであったと考えます。 今回の結果を受けての市長の心のもったメッセージが、市民に対しても議会に対してもないことは、非常に残念ですということを申し上げて、私の質疑を終わります。